

「野幌森林再生活動連絡会」を開催しました！

一昨年秋の台風 18 号による風倒被害を背景に、野幌の 100 年前の原始性が感じられる自然林を目指した森林づくりに取り組むこととした「野幌プロジェクト」の一環として、「団体型森林づくり」(団体等が森林管理署と森林づくりの協定を締結して行う森林再生活動)に参加する 12 団体相互の情報交換、各種取組状況の情報の共有化等の場として、「野幌森林再生活動連絡会」を設置しました。

第 1 回目の連絡会を、2 月 22 日(水)午後 1 時 30 分から 3 時まで、札幌市内かでの 2・7 において、12 団体の代表者と北海道森林管理局、石狩地域森林環境保全ふれあいセンター、石狩森林管理署、北海道野幌森林公園事務所、北海道空知森づくりセンターの関係者総勢 22 名が参集し開催しました。



連絡会では、参加団体の平成 17 年度活動実績及び平成 18 年度活動予定の報告等を行い、各団体の皆さんからは、今後の活動等について貴重な御意見等をたくさんいただき、実のある情報交換等の場となりました。

野幌森林再生活動連絡会議事要旨

- 1 日 時 平成 18 年 2 月 22 日(水) 13:30 ~ 15:00
- 2 場 所 かでの 2・7 (6 階学習室 A)
- 3 出席者 12 団体から 14 名出席 (出席者総数 22 名)
- 4 進 行 資料説明は石狩地域森林環境保全ふれあいセンター自然再生指導官が担当
- 5 議 事
 - (1)北海道森林管理局指導普及課長挨拶
 - (2)出席者の紹介
 - (3)平成 17 年度活動実績及び平成 18 年度活動予定の報告
事務局から、各団体の平成 17 年度活動実績及び平成 18 年度活動予定について説明。その後、各団体の席者から補足説明。

(4)連絡・留意事項

事務局から、「連絡会」の開催予定、ニュースレターの発行予定、用具の貸し出し、植栽木の樹種、外来種（ニセアカシア）の対応、看板の仕様等、看板の設置に関する申請書、活動計画及び実績報告、入林の際の連絡について説明。

(5)意見交換

出席者の主な意見等

入林届は、2週間前に報告することになっているが、急に入林を要する場合があるので、弾力的な対応をしてほしい。

鍬や鎌の使用期間は、他団体とも重なることから、用具の貸し出しの調整をうまく行ってほしい。また、ホームページに各団体への貸し出し状況等を掲載してほしい。

用具は、きちんと使えるよう整備しておいてほしい。

6月に予定する現地での連絡会開催時に下刈鎌の使い方や研ぎ方等について、講習会を実施してほしい。

水はけが悪い場所については、機械力により排水溝を掘るなどの水抜き対策をお願いしたい。

ニセアカシアの対策については、根本的な解決のため、母樹の除去等適切に対応すべき。

昨年地の地拵え作業中に、蜂の巣が3つもみつかった。蜂被害について注意喚起等すべき。

フルートやハーブのような楽器を使った森のコンサートを森の中でできないか。

苗木等の運搬のために必要な車の乗り入れについては、弾力的な対応をしてほしい。

マムシの血清を備えている病院の情報がほしい。